

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="628 712 1165 1084"><tr><td data-bbox="628 712 890 900">1</td><td data-bbox="890 712 1165 900">2</td></tr><tr><td data-bbox="628 900 890 1084">3</td><td data-bbox="890 900 1165 1084">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

部隊原簿

3

部隊原簿

原簿

明治三十七年

3HA直

# 部隊原簿

獨立混成第七九旅團

# 部隊原簿

獨立混成第七九旅團

# 分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	<table border="1" data-bbox="625 721 1161 1095"><tr><td data-bbox="625 721 885 907">1</td><td data-bbox="885 721 1161 907">2</td></tr><tr><td data-bbox="625 907 885 1095">3</td><td data-bbox="885 907 1161 1095">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					



部隊名 獨立混成第七九旅團司令部 (一) 通稱 號 滿 丈夫 二五二三八四七

郵便所名

理 管	部 謀 參	部 官 副	長 團 旅	別 隊	員 人 制 編
	少佐 篠田 平吉	少佐 西村 憲三 少尉 堀田 幸		隊長 名 (内は先代を示す) 中將 岡部 進	
			1	開人 戦時 戦時	
右 同	右 同	右 同	東 安	駐屯地	
				戦闘間の状況及損耗	
				終戦後の人員變動	
				作業大隊より 入ソ迄の變動	
				入ソ人員	
				除別計	
				滿洲殘留	
				收容所名	
				收容所	
				員所人	
				死亡	
				滿洲ソ領 よりより	
				歸還人員 計	
				者数	
				状況不明	





部 器 兵	部 理 管	部 謀 参	部 官 副	長 團 旅
少佐 山本 政俊		少佐 篠田 平吉	少佐 西村 憲三 少尉 堀田 亨	1
右 同	右 同	右 同	右 同	家 安

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="630 705 1173 1086"><tr><td data-bbox="630 705 893 896">1</td><td data-bbox="893 705 1173 896">2</td></tr><tr><td data-bbox="630 896 893 1086">3</td><td data-bbox="893 896 1173 1086">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3判以上のため				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					



部隊名 獨立混成第七九旅團司令部 (二) 通稱號 滿  
丈夫二五三七八七

郵便所名

信通	部醫獸	部醫軍	部理經	人員制編	別隊
大尉 大家	大尉 杉本 中尉 福家	少佐 遠藤 正夫 見土 南里 藥中 渡邊 衛少 濱田	大尉 西川 少尉 竹田	( ) 内は先代を示す	隊長名
				開人	戰鬥間の状況及損耗
				駐屯地	終戦後の人員變動
				戦時	作業大隊より 入ソ迄の變動
				平時	入ソ人員
				戦時	隊別計
					滿洲殘留
					收容所名
					收容所
					死亡
					滿洲より
					ソ領より
					計
					歸還人員
					者數
					狀況不明





# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="630 707 1161 1077"><tr><td data-bbox="630 707 890 891">1</td><td data-bbox="890 707 1161 891">2</td></tr><tr><td data-bbox="630 891 890 1077">3</td><td data-bbox="890 891 1161 1077">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					



1420  
1421  
1422  
1423

所屬 第三方面軍直轄  
獨立混成第七九旅團

部隊名 獨立歩兵五七八大隊

通稱號

滿洲  
丈丈二五三六七五

郵便所名

全般概要		轉入	轉出	人員編	別隊	隊長名	戰開人	駐屯地	戰鬥間の狀況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	隊別計	入「ソ」人員	滿洲残留	收	
二〇、一、一六、任丹江にて編成 自二〇、五、一七 至二〇、五、二八 鏡泊湖に於て陸地構築 二〇、七、一〇、鳳凰城にて編成 自二〇、七、一三 至二〇、八、一五 鳳凰城にて陸地構築 總員約一、〇〇〇名 二〇、八、一八 在滿召集者の約半数を召解 二〇、八、三二、第二回召集、鮮兵を補充せしむ 同地附近の治安維持に任ず 二〇、九、一、安東市にて武解 二〇、九、三二、奉天、北陵にて作業四四大隊編入(坂井大尉) ウラワンダ地区、バインゴールに收容		十九年以降 〇、三、三 機動歩兵第一隊、四一 三〇、三、三 山砲兵第一隊、七五 二〇、三、三 第六〇兵站警備隊、五九 二〇、三、三 歩兵第四三隊、一三六 〇 歩兵第四四隊、二九 共の他一八四			819	別隊	隊長名 ( )内は先代を示す 少佐 神野福太郎 附少尉 南部重田 主 山地 中尉 芝原為 中尉 廣渡 彦 少尉 松田		城風鳳 右同 右同 右同 右同 右同							收 ウラワンダ地区、バインゴールに收容

部隊名 獨立歩兵五七八大隊

通稱號

滿洲 丈丈二五三七五

郵便所名

中銃關機	隊中四第	隊中三第	隊中二第	隊中一第	部本	別隊	員人制編
	少尉 松田	中尉 廣渡 老	中尉 芝原 勇	中尉 有田 守一 (少尉 石川 隆夫)	主 重田 醫 山地	隊長 各 (内は先代を不示)	少佐 神野 龍次郎 附少尉 南部 少尉 山田
						開人 時員	
						駐 屯地	
右同	右同	右同	右同	右同	坂風風	戦 時	
						戦 斗 間 の 状 況 及 損 耗	
						終 戦 後 の 人 員 変 動	
						作 業 大 隊 よ り 入 ソ 込 の 變 動	
						入 ソ 込 人 員	
						隊 別 計	
						滿 洲 殘 留	
						收 容 所 名	
						ウ ラ ウ ン デ 地 區 バ イ ン ゴ ー ル 收 容 所	
						所 入 死 亡	
						滿 洲 領 計	
						歸 還 人 員	
						者 數	
						状 況 不 明	

二〇、一、一六、在野田  
 二〇、一、一七、在野田  
 二〇、一、一八、在野田  
 二〇、一、一九、在野田  
 二〇、一、二〇、在野田  
 二〇、一、二一、在野田  
 二〇、一、二二、在野田  
 二〇、一、二三、在野田  
 二〇、一、二四、在野田  
 二〇、一、二五、在野田  
 二〇、一、二六、在野田  
 二〇、一、二七、在野田  
 二〇、一、二八、在野田  
 二〇、一、二九、在野田  
 二〇、一、三〇、在野田  
 二〇、一、三一、在野田  
 二〇、一、三二、在野田  
 二〇、一、三三、在野田  
 二〇、一、三四、在野田  
 二〇、一、三五、在野田  
 二〇、一、三六、在野田  
 二〇、一、三七、在野田  
 二〇、一、三八、在野田  
 二〇、一、三九、在野田  
 二〇、一、四〇、在野田  
 二〇、一、四一、在野田  
 二〇、一、四二、在野田  
 二〇、一、四三、在野田  
 二〇、一、四四、在野田  
 二〇、一、四五、在野田  
 二〇、一、四六、在野田  
 二〇、一、四七、在野田  
 二〇、一、四八、在野田  
 二〇、一、四九、在野田  
 二〇、一、五〇、在野田  
 二〇、一、五一、在野田  
 二〇、一、五二、在野田  
 二〇、一、五三、在野田  
 二〇、一、五四、在野田  
 二〇、一、五五、在野田  
 二〇、一、五六、在野田  
 二〇、一、五七、在野田  
 二〇、一、五八、在野田  
 二〇、一、五九、在野田  
 二〇、一、六〇、在野田  
 二〇、一、六一、在野田  
 二〇、一、六二、在野田  
 二〇、一、六三、在野田  
 二〇、一、六四、在野田  
 二〇、一、六五、在野田  
 二〇、一、六六、在野田  
 二〇、一、六七、在野田  
 二〇、一、六八、在野田  
 二〇、一、六九、在野田  
 二〇、一、七〇、在野田  
 二〇、一、七一、在野田  
 二〇、一、七二、在野田  
 二〇、一、七三、在野田  
 二〇、一、七四、在野田  
 二〇、一、七五、在野田  
 二〇、一、七六、在野田  
 二〇、一、七七、在野田  
 二〇、一、七八、在野田  
 二〇、一、七九、在野田  
 二〇、一、八〇、在野田  
 二〇、一、八一、在野田  
 二〇、一、八二、在野田  
 二〇、一、八三、在野田  
 二〇、一、八四、在野田  
 二〇、一、八五、在野田  
 二〇、一、八六、在野田  
 二〇、一、八七、在野田  
 二〇、一、八八、在野田  
 二〇、一、八九、在野田  
 二〇、一、九〇、在野田  
 二〇、一、九一、在野田  
 二〇、一、九二、在野田  
 二〇、一、九三、在野田  
 二〇、一、九四、在野田  
 二〇、一、九五、在野田  
 二〇、一、九六、在野田  
 二〇、一、九七、在野田  
 二〇、一、九八、在野田  
 二〇、一、九九、在野田  
 二〇、一、一〇〇、在野田

本 部	第 一 中 隊	第 二 中 隊	第 三 中 隊	第 四 中 隊	機 關 銃 中 隊	步 兵 砲 小 隊	行 李 小 隊
少佐 神野 羅次郎 附少尉 南部 重田 山達	中尉 本間 幸十郎 少尉 本間 幸十郎 少尉 本間 幸十郎	中尉 芝原 易	中尉 廣渡 孝	少尉 松田		少尉 佐藤	
家風	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同



# 分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	<table border="1" data-bbox="639 719 1171 1088"><tr><td data-bbox="639 719 895 898">1</td><td data-bbox="895 719 1171 898">2</td></tr><tr><td data-bbox="639 898 895 1088">3</td><td data-bbox="895 898 1171 1088">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影した理由	A3判以上のため				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

1424  
1425  
1426  
1427

第三方面軍直轄  
獨立混成第七九旅團

部隊名 獨立步兵五七九大隊

通稱 號滿  
〇二五二七四六九

郵便所名

全般概要				轉入	轉出	人員編制		人員		駐屯地	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より 入「ソ」迄の變動	隊別 計	入「ソ」人員	滿洲 殘存		
二〇、二、一六、牡丹江、 江龍にて編成 二〇、四、八、石頭にて移動 二〇、五、二〇、五 二〇、七、下旬、湯山城に 移動 二〇、八、二〇、召解二〇 〇名 二〇、八、二三、召解一〇 〇名、陸隊一八名 二〇、九、七、武隊 二〇、一〇、一、奉天作業 五六大隊に編入 (長 大尉大久保勇)				一九年以降 二〇、六、二 羅南歩兵第一 補充隊 四七 二〇、三、三 〇 機動砲兵一聯 隊 六三 二〇、三、三 〇 兵站勤務四六 中 八三 二〇、三、三 〇 歩兵第四四聯 隊 一〇九 其の他二九四 隊、四六五等 三〇〇名 〇〇名 〇〇名	一九年以降 二〇、三、三 〇 機動砲兵一聯 隊 六三 二〇、三、三 〇 兵站勤務四六 中 八三 二〇、三、三 〇 歩兵第四四聯 隊 一〇九 其の他二九四 隊、四六五等 三〇〇名 〇〇名 〇〇名	員人編制 別 隊		隊長名 (内は先代を示す) 大尉 島田 重隆 少佐 田口 日吉 中尉 加藤圭三郎 中尉 伊藤 重隆 (才兼有川春雄) 中尉 万木 文雄	戦員 100 "								戦員 160 "	戦員 160 "

部隊名 獨立歩兵五七九大隊

通稱 號滿  
丈〇二五二七四九

郵便所名

819						編制人員	出降
隊中 銳 關 機	隊 中 四 第	隊 中 三 第	隊 中 二 第	隊 中 一 第	部 本	隊 別	出 降
少 隊 前 田 勇 次		中 隊 伊 藤 宗 武 佐	中 隊 加 藤 圭 三 郎	中 隊 中 村 明 中 曹 長 中 村 万 夫 文 種	大 尉 島 田 重 隆 副 官 田 沼 日 吉	( ) 内 は 先 代 を 示 す	九 年 以 降
100		160	160	160	100	關 入 時 間	
				川 右	城 山 湯	駐 屯 地	
						戰 斗 間 の 状 況 及 損 耗	
						終 戦 後 の 人 員 變 動	
						作 業 大 隊 よ り 入「ソ」迄 の 變 動	
						隊 別 入「ソ」人 員 計	
						滿 洲 殘 留	
						收 容 所 名	
						所 入 員 計	
						死 亡 者 數	
						滿 洲 以 外 領 土 者 數	
						狀 況 不 明 者 數	

二〇、二、一六、牡丹江、 江都の編成	二〇、六、二 七 陸軍歩兵第一 師団 四七	二〇、七、三〇、五 総合司令部	二〇、四、八、石原の移動	二〇、三、三 機動砲兵一 隊 六三	二〇、七、下旬、湯山城に 移動	二〇、八、二〇、召解二〇 〇名	二〇、八、二三、召解一〇 〇名、陸隊一八名	二〇、九、七、武勝	二〇、一〇、一、奉天作業 五六大隊に編入 (長 大尉大久保重)
-----------------------	--------------------------------	--------------------	--------------	-------------------------	--------------------	--------------------	--------------------------	-----------	---------------------------------------

本 部	第一 中 隊	第二 中 隊	第三 中 隊	第四 中 隊	機關 銃 中 隊	歩 兵 砲 小 隊	行 李 小 隊
大尉 島田 重隆 少佐 田口 日吉	中尉 加藤圭三郎 中尉 藤子 繁成 中尉 石 文隆	中尉 加藤圭三郎	中尉 藤子 繁成	少尉 前田 久次	見立 行 敏 三 輝 隆	中尉 石 文 隆	中尉 石 文 隆
100	160	160	160	100	50	20	20
城山湯	月 石	"	"	"	"	"	城山湯

五 陸 隊 三 〇 〇 名





# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="635 719 1169 1088"><tr><td data-bbox="635 719 890 902">1</td><td data-bbox="890 719 1169 902">2</td></tr><tr><td data-bbox="635 902 890 1088">3</td><td data-bbox="890 902 1169 1088">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

1428  
1429  
1430  
1431

所屬  
第三方面軍直轄  
獨立混成第七九旅團

部隊名  
獨立歩兵五八〇大隊

通稱  
丈夫二五二七五

郵便所名

全般概要						二〇、一、一六、編成 總員九〇〇名 安東市に於て終戦 二〇、八、一九、左衛門兵衛 者二〇〇名名解 安東市に於て終戦 二〇、九、一五、奉天編成 作業四五大隊に編入 (長 内藤大尉) 主力はスターリンスタ 一部がクドツクに入所
轉入						二〇、三、三〇 第一七聯隊 七〇
轉出						二〇、三、三〇 第二五野戰隊 九二 應召 三八七 二〇、五、二二 二〇年徴集現 役 六八 二〇、三、三〇 第一七野自廠 七五 共の他三〇一
819						員人組織
隊中銃關機	隊中四第	隊中三第	隊中二第	隊中一第	部 本	別 隊
						隊長名 ( )内は先代を示す 大尉 佐々本勝吾
						開入 戦時 平時 戦時
						駐屯地 安東
右同	右同	右同	右同	右同	東安	
戰鬥間の状況及損耗						
終戦後の人員變動						
作業大隊より						
入「ソ」迄の變動						
隊別計						入「ソ」人員
						滿洲殘留
收						

819						出降 年以	部隊名 獨立歩兵五八〇大隊
隊中銃關機	隊中四第	隊中三第	隊中二第	隊中一第	部本	員人副編	
						大尉 佐々本勝吾 ( )内は先代を示す	隊長名
							關人 戰時 平時
							駐屯地
右同	右同	右同	右同	右同	東安		戰時
							戰鬥間の狀況及損耗
							終戦後の人員變動
							作業大隊より 入ソ返の變動
							入ソ人員
							隊別計
							滿洲殘留
							收容所名
							收容所
							歸還人員
							滿洲より領 計
							死亡
							者數
							狀況不明

通稱號  
丈夫二五二八七五

郵便所名



隊小季行	隊小砲兵歩	隊中銃關機	隊中四第	隊中三第	隊中二第	隊中一第	部本
	少尉 井上 寛 貴令 隊長 野重 力二 四村 四郎 厚島 中 中 尾崎 三子 指原 班 中 尾崎 三子						本 部
右同	右同	右同	右同	右同	右同	右同	案安

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="639 719 1174 1093"><tr><td data-bbox="639 719 900 904">1</td><td data-bbox="900 719 1174 904">2</td></tr><tr><td data-bbox="639 904 900 1093">3</td><td data-bbox="900 904 1174 1093">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					





出  
降

部隊名 獨立歩兵五八一大隊

通稱號 滿  
丈夫二五二七六六

郵便所名

隊中銃關機	隊中四第	隊中三第	隊中二第	隊中一第	部 本	別 隊
中尉 田中 務	中尉 酒井 誠	中尉 寺岡 原	中尉 寺岡 原	中尉 寺岡 原	大尉 中根 唯雄 少佐 有原 正 中尉 中根 三夫 中尉 中根 三夫	隊長 名 (内は先代を示す)
100	180	180	180	180	13	開人 戦時 平時
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	東 安	駐屯地
						戦闘間の状況及損耗
						終戦後の人員變動
						作業大隊より 入ソ連の變動
						入ソ連人員 除別計
						滿洲殘留
						收容所名
						所人
						死亡
						滿洲ソ連 より
						歸還人員 計
						者 数
						狀況不明

二〇〇、一、一六、廿九、三三 一編成	二〇〇、三、三 第二師団隊 七十八	二〇〇、二、二 步兵第四〇聯隊	二〇〇、三、三 二〇〇、三、三 二〇〇、三、三 二〇〇、三、三 二〇〇、三、三 第六〇兵站聯隊 一一二三 二 其の他 二一	一部殘留者は奉天編成五三 大隊に編入 ウラウチ地区及ニトシカ に收容 一〇八、八、二〇、自發的に 武器を放棄し「ソ」を拒絶 下に入る 約一ヶ月安東鐵道に當る 二〇、八、下旬、安東より 奉天に移す 此隊大部分に解散せり	一〇八、八、二〇、自發的に 武器を放棄し「ソ」を拒絶 下に入る 約一ヶ月安東鐵道に當る 二〇、八、下旬、安東より 奉天に移す 此隊大部分に解散せり 一部殘留者は奉天編成五三 大隊に編入 ウラウチ地区及ニトシカ に收容 一〇八、八、二〇、自發的に 武器を放棄し「ソ」を拒絶 下に入る 約一ヶ月安東鐵道に當る 二〇、八、下旬、安東より 奉天に移す 此隊大部分に解散せり
-----------------------	-------------------------	--------------------	---	--	---

本 部	隊 中 一 第	隊 中 二 第	隊 中 三 第	隊 中 四 第	隊 中 銃 關 機	隊 小 砲 兵 步	隊 小 李 行
中尉 寺岡 厚 少佐 渡辺 武 中尉 寺岡 厚 少佐 渡辺 武	中尉 寺岡 厚	中尉 寺岡 厚	中尉 寺岡 厚	中尉 寺岡 厚	中尉 寺岡 厚	中尉 寺岡 厚	中尉 寺岡 厚
13	180	190	190	190	100	70	80
	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同

五ノ名  
七ノ名  
八ノ名

本 部	隊 中 一 第	隊 中 二 第	隊 中 三 第	隊 中 四 第	隊 中 銃 關 機	隊 小 砲 兵 步	隊 小 李 行
六郎 六郎 雄雄 少佐 有左 三ノ名 宇内多 一ノ名 源三郎 一ノ名 有左	中尉 寺岡 彦 中尉 寺岡 彦	中尉 酒井 誠	中尉 田中 勇 中尉 田中 勇	中尉 田中 勇	中尉 田中 勇	中尉 田中 勇	少佐 榎重 武
13	180	180	180	180	100	20	80
東 安	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="639 707 1174 1077"><tr><td data-bbox="639 707 895 891">1</td><td data-bbox="895 707 1174 891">2</td></tr><tr><td data-bbox="639 891 895 1077">3</td><td data-bbox="895 891 1174 1077">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

1420  
1420

第三方面軍管轄  
獨立混成第七九旅團

部隊名 獨立歩兵五八二大隊

通稱 號 滿  
丈夫二五二七四九

郵便所名

全般概要

二〇、一、一六、編成  
總員約九〇〇〇名  
安東新賓州河口より遼東州  
境に至る長大な海陸線沿  
に任す

二〇、七、安東省大孤山に  
移駐、同地を管轄

二〇、八、一八、在遼石炭  
産の多量採掘隊(石炭産の  
採りか)

二〇、八、二四、管内少尉  
以下二五〇名を編

二〇、八、三〇、安東中隊  
にて武備(入隊者)

二〇、一〇、下旬、奉天集  
結第五大隊に編入  
(長 大家大尉)

當時員五〇〇、六〇〇  
ウラウラ(三〇)ウラウラ

警備中隊田舎を模倣な  
る。詳細不明

轉入 轉出  
十九年以降 十九年以降

員人制編

別 隊 長 名  
( )内は先代を示す  
大尉 森村 春  
副隊長 坪田 房吉

駐屯地  
大孤山

戰鬥間の状況及損耗

終戦後の人員變動

作業大隊より  
入ソ返の變動  
入ソ人員  
滿洲残留

收容所

應召 三六七 隊員七三三  
二〇、五、二 轉入二九六  
二〇、年徴収現 役 七七  
二〇、三、二 隊員一〇三  
二〇、三、三 隊員一〇三  
二〇、三、三 隊員一〇三  
第三軍團歩兵 隊員六三  
教育隊 六三

昭和三十二年五月廿二日現地入隊約二百五十名  
六月下旬鮮系初年兵約百名  
七月廿日鮮系補充兵約八十名  
七月七日安東で國境守備隊  
及び歩兵第七十聯隊から初年兵三百名  
及び師團から百五十名入隊

隊 中 一 第 部 本  
中尉 間瀬 隆己  
位 140 23

駐屯地  
東安

戰鬥間の状況及損耗

終戦後の人員變動

收容所

中 銃 關 機	隊 中 四	少 尉 橋 本 道 徳	5130	1514
500 ~ 600				

ウラウラ地区  
第三〇收容所

1435  
1437  
1438  
1439  
1440

所屬 第三方面軍直轄  
獨立混成第七九旅團

部隊名 獨立歩兵五八二大隊

通稱 號 滿  
丈夫二五二七四九

郵便所名

全般概要  
三〇、一、一六、編成  
總員約九〇〇名  
其後新瀉州河口より關東州  
茨城に至る長大な海岸線警備  
に任ず。  
二〇、七、安東各大隊山下  
警備、同地警備  
二〇、八、一八、在滿召集  
者のみ召集解散（召集者の  
以のみ）  
二〇、八、二四、坪内少尉  
以下五〇名召解  
二〇、八、三〇、安東中隊  
にて解散（召集者の  
以のみ）  
三〇、一〇、下旬、奉天集  
結第五大隊に編入  
（長 大家大尉）  
當時員五〇〇〜六〇〇  
ウラワンデ（三〇）に收容  
際途中脱出者多し、模様な  
るも詳細不明

轉入  
十九年以降

轉出  
十九年以降

員人制編

部	第一隊	第二隊	第三隊	第四隊	機關銃中隊
大尉 森村 智	中尉 間瀬 己	少尉 芳澤 三夫	中隊 山崎 務之	中尉 藤田 佐夫	少尉 橋本 道徳
23	約140	約140	約140	約140	約130
山孤大	東安	港東大	河莊		
戰鬥中の狀況及損耗					
終戦後の人員變動					
作業大隊より 入ソ迄の變動					
入ソ人員 除別計					
滿洲殘留					
收容					

819

部	第一隊	第二隊	第三隊	第四隊	機關銃中隊
大尉 森村 智	中尉 間瀬 己	少尉 芳澤 三夫	中隊 山崎 務之	中尉 藤田 佐夫	少尉 橋本 道徳
23	約140	約140	約140	約140	約130
山孤大	東安	港東大	河莊		
戰鬥中の狀況及損耗					
終戦後の人員變動					
作業大隊より 入ソ迄の變動					
入ソ人員 除別計					
滿洲殘留					
收容					

500 ~ 680

ウラワンデ地區  
第三〇收容所

部隊名 獨立歩兵五八二大隊

通稱號 滿  
丈夫二五二七四九

郵便所名

819						出 年以降
編制人員						除別
隊中銃關機	隊中四第	隊中三第	隊中二第	隊中一第	本部	隊長名 (内は先代を示す)
少尉 橋本道彦	中尉 山崎修二 中尉 山崎修二 中尉 山崎修二	中尉 山崎修二	少尉 矢野三夫	中尉 間瀬 己	大尉 森村 智 副官 藤田 修三	
約 130	約 140	約 140	約 140	約 140	23	開人 戦時 員
		河 莊	港東大	東 安	山孤大	駐 屯 地
						戦 斗 間 の 状 況 及 損 耗
						終 戦 後 の 人 員 変 動
						作 業 大 隊 よ り 入 ソ の 変 動
						入 ソ 人 員 計
						滿 洲 残 留
						收 容 所 名
						所 人 員
						死 亡
						滿 洲 よ り 領 計
						歸 還 人 員
						状 況 不 明 者 数

500 ~ 600

ウランデ地区  
第三〇收容所

三〇〇、一、一六、編成  
三〇〇〇名  
共在野原河川より野原出  
出に至る正六と海陸両隊  
に在り。

二〇、八、一八、在野原集  
者のみ召集解散(召集者  
ののみ)

二〇、八、二四、年内少尉  
以下五〇名召募

二〇、八、三〇、安東中隊  
二〇武備(入隊者)  
二〇、一〇、下旬、奉天集  
結第五大隊に編入  
(長 大家大尉)

當時五〇〇〜六〇〇  
ウラウラ(三〇)に收容

戦時中脱出者多きを徴収な  
のの詳細不明

三三七  
二〇、五、二  
二〇年夏秋現  
後三三七

中尉 間瀬 己  
少兵第七〇聯  
隊 三三七

第三軍團重兵  
隊 六三  
三三七

本	部	第一中隊	第二中隊	第三中隊	第四中隊	機關銃中隊	步兵砲小隊	行李小隊
大野 泰村 一等	中尉 間瀬 己	少尉 芳澤 三夫	中隊 山崎 務 上	中尉 山崎 務 上	少尉 橋本 道信	見上 ト新 己房	少尉 渡辺 房 彦	
23	約 140	約 140	約 140	約 140	約 130	約 60		
大孤	東 安	港東大	河 莊					



隊小李行	隊小砲兵歩	隊中銃關機	隊中四第	隊中三第	隊中二第	隊中一第	部	本
少尉 沢田 隆夫	見上 下新正房	少尉 橋本 道彦	中尉 藤田 作夫	中尉 山崎 務之	少尉 芳澤 三夫	中尉 岡瀬 誠己		大尉 森村 智
	約 60	約 130	約 140	- 140	約 140	約 140		23
				河 莊	港東大	東 安		山孤大

500 ~ 990

ウラウミンナ地区  
第三〇救急所

# 分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	<table border="1" data-bbox="635 719 1166 1088"><tr><td data-bbox="635 719 890 902">1</td><td data-bbox="890 719 1166 902">2</td></tr><tr><td data-bbox="635 902 890 1088">3</td><td data-bbox="890 902 1166 1088">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

1441  
1442  
1443  
1444

属所  
第三方面軍直轄  
部隊名 獨立混成第七九旅團挺進大隊  
通稱號 滿三七八一五  
郵便所名

全般概要		轉入	轉出	員人制編		1180	
二〇、一、一六、編成		十九年以降	十九年以降	別隊		本 部	
二〇、八、二八、南安東にて武裝				隊長名		大尉 内藤 健治	
二〇、九、奉天市北段にて作業第四五大隊に編入(長 内藤大尉)				開人		戦時	
二〇、九、奉天出發、ガソリンに収容				駐屯地		東安南	
三 第	隊 中 二 第	隊 中 一 第	部	戰鬥間の状況及損耗		終戦後の人員變動	
	少尉 青木 義雄 少尉 長白 川 少尉 山崎 吉彦 少尉 山崎 龍			330		現任者名解一〇〇名 字名は能く或解後解凍一〇〇名	
右 同	右 同	右 同	右 同	作業大隊より入「ソ」迄の變動		作業大隊編入人員約一三〇名	
				入「ソ」人員		隊別計	
				満洲残留			

部隊名 獨立混成第七九旅團挺進大隊 通稱號 滿三七八一五 郵便所名

1130		編制人員		轉出 九年以降	
中 三 第	隊 中 二 第	隊 中 一 第	部 本	別 隊	隊 長 名 ( )内は先代を示す 大尉 内藤 健治
	少尉 青木 義雄 少隊長 白井 山室 善行 山崎 隆				關人 戰時 駐屯地
	330				東安南
右 同	右 同	右 同			戰鬥間の狀況及損耗
					終戦後の人員變動
	現在右名解一七〇名 字事に於て戦解後獲得物一七五				作業大隊より 入「ソ」迄の變動
	作業大隊編入人員内約一三〇名				入「ソ」人員
					隊別計
					滿洲殘留
					收容所名
					收容所
					人員死亡
					滿洲より ソ領より
					歸還人員計
					狀況不明者數

二〇、一、一、四

二〇、八、二八、前安東にて

二〇、九、奉天市北段にて  
作業第五大隊を編入  
(兵 内藤大尉)

二〇、九、奉天出陣、ガラ  
トックに收容

1130

六 班 兵 隊 總 務

本 部	第 一 中 隊	第 二 中 隊	第 三 中 隊
		少 隊 長 青 木 義 雄 少 隊 長 白 井 孝 一 山 崎 隆 吉 山 崎 隆 吉 山 崎 隆 吉	
		330	
	右 同	右 同	右 同

現 在 石 解 一 三 〇 名  
安 東 社 区 兵 隊 復 隊 隊 員 一 三 〇 名

作 業 大 隊 編 入 人 員 内 均 一 三 〇 名

	隊 中 三 第	隊 中 二 第	隊 中 一 第	部 本
		少尉 青木 美雄 少尉 長白 岸 少尉 山崎 隆 少尉 山崎 隆 少尉 山崎 隆		大尉 西藤 健治
		330		
	右 同	右 同	右 同	家安憲
		現 在 者 名 解 一 七 〇 名 卒 者 名 解 一 七 〇 名 卒 者 名 解 一 七 〇 名		
		作 業 大 隊 編 入 人 員 約 〇 〇 〇 名 一 三 〇 名		